

平成 22 年の神戸観光（観光入込客数）と神戸観光プランの目標値設定

～今回から国の基準に準じた推計を導入～

1. 背景

これまで神戸市では、観光施設の利用者やイベントの来場者の合計に基づいて観光入込客数を算出してきましたが、平成 22 年分から国（観光庁）が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」（以下「共通基準」という）に準じて算出することとしました。

※観光入込客統計に関する共通基準

各都道府県の「観光入込客数」「観光消費額単価」「観光消費額」等を把握するための調査手法や集計方法を示した調査基準。各都道府県の観光入込客統計は、各都道府県独自の手法により調査・集計されており、集計結果についても、年度集計と暦年集計の違いや、実人数と延べ人数の違いがあるなど、各都道府県の発表するデータ間での比較ができなかったため、相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で、平成 21 年 12 月に観光庁が策定・公表した。

2. 平成 22 年の観光入込客数等

平成 22 年の神戸の観光地点での観光入込客数は 1,968 万人で、観光動向調査に基づく消費額単価を乗じた直接的な観光消費額は 2,585 億円でした。また、行祭事・イベントの観光入込客数は 1,226 万人でした。

《全市での観光入込客数等》

	観光地点	観光消費額
日帰り客	1,539 万人	1,285 億円
宿泊客	429 万人	1,300 億円
合計	1,968 万人	2,585 億円

行祭事・イベント
1,226 万人

※消費額単価：日帰り客 8,348 円、宿泊客 30,294 円

《エリア別観光入込客数》

(単位：万人)

	観光地点	行祭事・イベント
市街地	1,372	1,112
うち北野	81	31
神戸港	267	63
六甲・摩耶	208	2
有馬	133	1
須磨・舞子	382	26
西北神	199	23

※エリア間の移動があるため、全市の合計とは一致しない

○共通基準導入に伴う主な変更点

- ・観光地点（日帰り客と宿泊客別）、行祭事・イベント別に算出
- ・観光地点として、観光施設だけでなく、南京町、旧居留地などを追加するとともに、共通基準上の要件に満たない施設を除外
- ・行祭事・イベントとして、国際会議場や展示場でのイベント、初詣などを追加するとともに共通基準上の要件に満たないイベントを除外

○共通基準上での観光入込客数として算入する要件

- ・非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人の割合が半分未満）
- ・前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上

○共通基準での算出方法

- ・日帰り客：観光地点延べ利用者数×日帰り率÷平均訪問地点数
- ・宿泊客：(宿泊施設延べ利用者数+宿泊施設外延べ利用者数)÷平均利用宿泊か所数
- ・行祭事・イベント：主催者発表等

3. 神戸観光プランの目標値設定

平成23年2月に平成23年度から27年度までの5年間を計画期間とする「神戸観光プラン」を策定しました。その中で掲げている5つの目標値のうち、観光入込客数と宿泊者数については、共通基準に準じた推計を踏まえて設定することとしていました。

この度、前述のとおり平成22年の観光入込客数が算出されましたので、目標値を下記のとおり設定します。なお、観光入込客数については、観光地点と行祭事・イベントそれぞれの数の合計とします。

《神戸観光プランでの目標》

	策定年		2015年
観光入込客数	—	→	3,500万人
外国人旅行者数	44.1万人		100万人
宿泊者数	—		450万人
国際会議開催件数	76件		100件
旅行者満足度	90.8%		95%

※策定年の数値は、2009年（平成21年）実績（旅行者満足度は、2009年度実績）

《参考:公立施設等の来場者数》

産業振興局調べ(単位:万人)

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	前年比
風見鶏の館	32.4	33.4	34.1	36.0	32.1	89.2%
北野工房のまち	87.8	84.5	82.9	73.2	74.8	102.2%
神戸布引ハーブ園	31.6	21.9	21.0	25.5	24.5	96.1%
市立博物館	54.7	49.6	48.1	13.7	30.0	219.0%
兵庫県立美術館	42.0	48.1	55.9	88.9	107.1	120.5%
王子動物園	131.5	137.3	141.5	142.5	130.4	91.5%
青少年科学館	29.9	33.7	34.3	36.9	33.3	90.2%
神戸ファッション美術館	23.9	18.0	18.5	20.9	19.0	90.9%
神戸ポートタワー	33.0	35.7	32.4	38.3	33.4	87.2%
神戸海洋博物館	19.3	21.9	19.9	18.6	19.1	102.7%
六甲山牧場	33.5	33.9	33.1	38.1	29.4	77.2%
森林植物園	23.6	24.7	22.8	23.8	20.5	86.1%
有馬温泉金の湯・銀の湯	42.2	45.4	43.8	43.0	38.4	89.3%
有馬の工房・太閤の湯殿館	9.5	9.5	9.6	10.2	9.2	90.2%
須磨海浜水族園	109.0	110.7	111.0	137.2	105.2	76.7%
須磨離宮公園	20.3	25.3	25.2	22.4	26.4	117.9%
海づり公園(須磨・平磯)	17.6	18.4	18.6	18.7	16.1	86.1%
舞子海上プロムナード	19.0	20.6	22.0	18.6	19.2	103.2%
農業公園	21.9	21.2	21.9	20.6	20.3	98.5%
フルーツ・フラワーパーク	58.6	61.9	51.4	52.7	45.7	86.7%

《参考:これまでの基準での観光入込客数》

(単位:万人)

エリア	平成21年	平成22年	前年比
市街地	1,249	1,448	115.9%
うち北野	149	151	101.3%
神戸港	190	154	81.1%
六甲・摩耶	503	523	104.0%
有馬	147	138	93.9%
須磨・舞子	473	425	89.9%
西北神	134	189	141.0%
小計	2,696	2,877	106.7%
神戸ルミナリエ	319	302	94.7%
合計	3,015	3,179	105.4%

※神戸ルミナリエは、期間中の来場者数のうち神戸ルミナリエが主目的で来場した人の割合を乗じた数

全市では、「行こう!神戸」キャンペーンの終了に伴う影響などがあったものの、鉄人28号モニュメント効果の通年化などにより5.3%増加し3,179万人となり、昭和56年の3,085万人を超えて過去最高となった。

市街地では、美術館や博物館の来場者の増加や鉄人28号モニュメント効果の通年化、六甲・摩耶では、六甲枝垂れの完成、西北神では、アウトレットモールのリニューアルによる誘発効果の通年化などにより、それぞれ増加した。また、神戸港では、神戸スウィングオブライツなどイベントの減少、有馬や須磨・舞子では、施設の無料開放の影響などにより、それぞれ減少した。